

令和6年度 地域公共交通関連事業

■交通空白地有償運送事業（旧市町村運営有償運送）

コミュニティバス『三日月～播磨科学公園都市線』	
予算額	【収入】1,560,000 円 （※1 播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業負担金含む） 【支出】6,933,000 円
実施主体	佐用町（企画防災課）
運行形態	交通空白地有償運送。大原観光交通（株）へ委託
車両	29 人乗り 町公用車 1 台
便数	定時定路線 1 日 6 便（土日・祝日・年末年始運休）
運賃	大人 200 円 小学生 100 円（チケット制）通学定期 1 か月 6,000 円
その他	・平成 27 年度より、中学生以上の学生・生徒には通学定期購入可能 ・平成 28 年度より、7 時台の播磨科学公園都市行き便を 1 便から 2 便に増便 ・平成 29 年度より、播磨科学公園都市圏域定住自立圏バス（以下、「圏域バス」）にあわせ、1 乗車あたり、運賃を大人 300 円から 200 円とし、「芝生広場バス停」で乗降が可能 ・平成 30 年 4 月 12 日より、14 人乗りワゴン車から 29 人乗りマイクロバスに変更（マイクロバス購入）。これに伴い、平成 30 年 4 月 23 日より、7 時台の播磨科学公園都市行き便を 2 便から 1 便に変更し、時刻も変更 ・令和 2 年 4～6 月、新型コロナウイルスの影響で兵庫県立大学付属中・高の下校時刻が変更されたため、コロナ対策として、下校時刻に合わせた臨時便を増便運行 ・令和 4 年 4 月より、光都バスセンターへの経由を開始

※1 播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業負担金は、1,000,000 円
圏域バスとの連携による減収補填として、たつの市より入金見込。

コミュニティバス『佐用～船越線』	
予算額	【収入】 960,000 円 【支出】7,773,000 円
実施主体	佐用町（企画防災課）
運行形態	交通空白地有償運送。大原観光交通（株）へ委託
車両	29 人乗り 町公用車 1 台
便数	定時定路線 1 日 6 便（土日・祝日・年末年始運休）
運賃	大人 200 円 小学生 100 円（チケット制）通学定期 1 か月 6,000 円
その他	・平成 27 年度より、中学生以上の学生・生徒には通学定期購入可能 ・平成 28 年 6 月より、29 人乗りマイクロバスに変更（マイクロバス購入）。同年 9 月より「名目津和」バス停を新設し、路線を延伸。 ・平成 29 年度より、圏域バスにあわせ、1 乗車あたり、運賃を大人 300 円から 200 円とした。 ・令和 2 年 4～6 月、新型コロナウイルスの影響で佐用高等学校の下校時刻が変更されたため、コロナ対策として、下校時刻に合わせた臨時便を増便運行 ・令和 5 年 11 月より、「道の駅ちくさ」バス停を新設し、路線を延伸 ・令和 6 年 4 月、夏・冬ダイヤを廃止し、年間を通して以前の冬ダイヤで運行

■交通空白地有償運送事業（旧過疎地有償運送）

さよさよサービス（江川ふれあい号含む）	
予算額	19,000,000 円
実施主体	佐用町社会福祉協議会
運行形態	交通空白地有償運送
車両	【さよさよサービス】10 人乗り町公用車 4 台・7 人乗り町公用車 1 台 【江川ふれあい号】 10 人乗り町公用車 1 台
便数	【さよさよサービス】予約式デマンド輸送（町内を月・水・金に運行する地域と、火・木・土に運行する地域とに分けて運行。日曜・祝日・年末年始運休） 【江川ふれあい号】 予約式デマンド輸送（1 日 8 便、予約時のみ運行。土日・祝日運休）
運賃	【さよさよサービス】一般 400 円、65 歳以上・障害者等 300 円、小学生 150 円（チケット制） 【江川ふれあい号】一般 300 円、小学生 150 円（チケット制）
その他	平成 25 年度から、実施主体を町社会福祉協議会へ変更。

■その他の佐用町独自施策

鉄道利用促進事業（社会学習事業）	
予算額	1,320,000 円
実施主体	佐用町（健康福祉課・教育課・企画防災課）
内 容	保育園、小中学校、各種団体などで、JR 姫新線や智頭急行智頭線等を利用した社会学習事業などを行うグループに対し、姫新線の姫路～津山駅間（保育園、小中学校については姫路～上月駅間）および智頭線の智頭～上郡駅間に限り片道分の乗車券を支給する。 「姫新線利用促進・活性化同盟会」の沿線自治体とともに、再度 300 万人乗車の復活に向けて、努力する。
その他	平成 27 年度より、保育園及び小中学校を除く各種団体に対しては、往復から片道分の支給に変更。 令和 4 年度より、智頭線も対象に追加。（保育園、小中学校は既に対象） 令和 5 年度より、上月～津山駅間も対象に追加。（保育園、小中学校については対象外）また、各種団体については 2 名以上から申請できるように制度を拡充（以前は 5 名以上）

大学生等通学定期券購入助成事業	
予算額	8,000,000 円
実施主体	佐用町（企画防災課）
内 容	地域公共交通の利用促進及び定住促進ならびに子育て支援を目的とし、令和 4 年度から大学生、短大生、専門学生等の通学定期券購入費の一部を助成する制度を開始。町内の駅・バス停から通学する学生を対象とし、1 ヶ月あたり 8,000 円を上限とし、助成を実施。 令和 5 年度より助成対象期間は満 19 歳となる年度の 4 月 1 日から満 25 歳となる年度の 3 月 31 日まで。（令和 4 年度は満 22 歳までを対象としていたが、満 25 歳まで対象を拡大）

	また、令和 5 年度からは高等学校の専攻科および姫路市立あかつき中学校についても助成対象に追加
--	---

タクシー運賃助成事業									
予算額	【収入】 1,350,000 円 【支出】 14,481,000 円								
実施主体	佐用町（健康福祉課）								
内 容	高齢者や要介護認定者などに対し、12 枚綴りのタクシー運賃助成チケットを 1,000 円で販売。年間 5 冊まで。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タクシー料金の額</th><th>助 成 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000 円以下</td><td>タクシー料金の額に 2 分の 1 を乗じて得た額</td></tr> <tr> <td>2,001 円～ 3,000 円</td><td>タクシー料金の額から 1,000 円を差し引いて得た額</td></tr> <tr> <td>3,001 円以上</td><td>一律 2,000 円</td></tr> </tbody> </table> ※助成額に 10 円未満の端数が生じた場合は、それを切り上げ	タクシー料金の額	助 成 額	2,000 円以下	タクシー料金の額に 2 分の 1 を乗じて得た額	2,001 円～ 3,000 円	タクシー料金の額から 1,000 円を差し引いて得た額	3,001 円以上	一律 2,000 円
タクシー料金の額	助 成 額								
2,000 円以下	タクシー料金の額に 2 分の 1 を乗じて得た額								
2,001 円～ 3,000 円	タクシー料金の額から 1,000 円を差し引いて得た額								
3,001 円以上	一律 2,000 円								
その他	平成 24 年度より、用途を問わず購入上限を年間 3 冊まで拡充 令和 2 年度より、用途を問わず購入上限を年間 5 冊まで拡充								

免許証自主返納支援事業	
予算額	360,000 円
実施主体	佐用町（企画防災課）
内 容	運転免許証を自主的に返納する 65 歳以上の方に、タクシー運賃助成チケット 1 冊に加え、さよさよサービスチケットまたはコミュニティバスチケットのいずれか 1 冊を 1 人につき 1 回進呈する。

スクールバスの混乗化	
予算額	混乗化に関する予算は特になし
実施主体	佐用町（教育委員会教育課）
内 容	自動車及びバイクなどを運転できない公共交通の利用が困難な方に対し、教育委員会で審査・登録を行ったうえで、スクールバスへの乗車を可能とする。
運賃	無償（乗車時に乗車証を提示）

■その他の事業

路線バス維持確保事業	
予算額	8,515,000 円
実施主体	佐用町（企画防災課）
内 容	公共交通を確保維持するため、㈱ウイング神姫の運行する山崎～三河経由～千種線、および山崎～三河経由～西河内線の赤字補填を行う。